

## 新田和男先生を偲んで

一般財団法人MOA健康科学センター  
理事長 鈴木 清志

新田和男（にったかずお）先生が平成30年6月26日、享年92歳でご逝去されました。

新田先生は、大正15年に現在の東京都杉並区高円寺でお生まれになり、東京大学医学部を首席で卒業されたと聞いております。先生に初めてお目にかかったのは、私が医学部の学生だった頃ですから、今から40年前になります。MOAが主催する全国医療学生の集いで、お話をして下さいました。当時、先生は国立がんセンターの化学療法部長で、私は、医学研究への情熱と、常に患者さんを思う温かいお人柄に感動し、皆で夜遅くまで語り合ったことを覚えています。

私が医者として働き始めてすぐに、2歳の女の子を受け持ちました。その子は、がんの末期で、いろいろな薬を試したのですが、がんが次第に増大し、腹部全体を占め、排尿ができなくなってしまいました。私の指導医がため息をつきながら、「最近開発されたあの薬があればなあ。国立がんセンターなら、あるかもな。」とつぶやくので、私はすぐに新田先生にお電話しました。先生は私のことを覚えておられて、「その薬よりもっと新しい薬があるので、それを送らしましょう。」とおっしゃって下さいました。私の指導医は、「なんでお前がそんな偉い人から、薬を分けてもらえるんだよ。」と言いつつ、その薬が使えるように手配してくれました。

翌日にはその薬が届き、使い始めた翌日には排尿もみられ、やがて元気に病棟を走り回れるようになりました。私はそのときに、一流の医者ならば、普通は助からない病気も助けることができることを知り、新田先生への尊敬の念をさらに深くするとともに、私も新田先生のような医者になりたいと思いました。その子は2年後に亡くなりましたが、ご両親からは今でも年賀状が届きます。改めて感謝を申し上げます。

私は医者になってすぐに、新田先生から、体・心・スピリチュアリティを見つめる全人的医療の重要性と医学研究の必要性を学び、それ以来、先生を目標に頑張ってまいりました。そして18年前に、先生の診療姿勢を直接見て学び、後進の指導においても伝えようと思い、MOAのクリニックで働くことにしました。それ以来、西洋医学とMOAの推奨する健康法を組み合わせ合わせた統合医療を実践し、その効果の研究に取り組み、今日に至っております。

新田先生のご指導のおかげで、MOA健康科学センターとして英語論文50編、日本語論文100編以上を国内外の医学専門雑誌などに掲載できるようになりました。現代医学を究め、まさに統合医学の道を歩まれた先生の哲学は、次の世代に連綿と受け継がれています。有望な若手の医者や研究者が、必ずや先生の求めたご理想を実現してくれると信じています。

新田先生、長年にわたる先生のお導きに、心より感謝申し上げます。MOA健康科学センターでの研究がさらに充実し、社会にさらに貢献できるように、職員一同頑張っております。天界からの見守りを、何とぞお願い申し上げます。

- 【職名・学位】 医師、医学博士（東京大学）  
 【専門領域】 癌化学療法、免疫療法（カナマイシン、ザルコマイシン、ブレオマイシン、ジョサマイシン、カンプトテシン等、薬剤の共同開発と発明に直接従事）  
 【所属学会】 日本癌学会（名誉会員）、日本バイオセラピー学会（名誉会員）、日本統合医療学会

【略 歴】

- 大正15年（1926）1月8日生まれ（東京・高円寺）  
 昭和24年（1949）3月 東京大学医学部医学科卒業  
 27年（1952）4月 国立予防衛生研究所（現・国立感染症研究所）  
 抗生物質部厚生技官  
 33年（1958）12月 財団法人微生物化学研究会（現・公益財団法人微生物化学研究会）評議員（～平成14年7月）  
 36年（1961）2月 米国メリーランド州Johns Hopkins大学、医学部外科でpost-doctoral fellowとしてがん研究に従事（～昭和38年4月）  
 39年（1964）2月 国立予防衛生研究所抗生物質部生物室長  
 51年（1976）3月 国立がんセンター（現・国立研究開発法人国立がん研究センター）化学療法部長  
 62年（1987）4月 千葉県がんセンター研究局長  
 平成元年（1989）11月 中央薬事審議会委員、同常任部会員、同抗菌性物質製剤特別部会長（～平成3年11月）

【MOAでの活動】

- 平成3年（1991）4月 MOA TOKYO浄院診療所（平成9年3月、成城診療所と改名）所長（～平成13年7月）  
 3年（1991）6月 財団法人エム・オー・エー健康科学センター（以下、MOA健康科学センターと略記）  
 設立及び理事長（～平成5年3月）、同専門委員会委員長（～平成11年3月）、研究部長  
 12年（2000）3月 MOA健康科学センター研究推進委員会委員長（～平成16年3月）  
 13年（2001）7月～ 医療法人財団玉川会常務理事、MOA高輪クリニック（東京療院）相談役  
 15年（2003）2月 箱根強羅クリニック（平成16年10月、医療法人財団玉川会に所属）院長（～平成28年12月）  
 16年（2004）3月～ MOA健康科学センター顧問  
 18年（2006）5月～ 新田記念統合医学研究所設立及び所長

